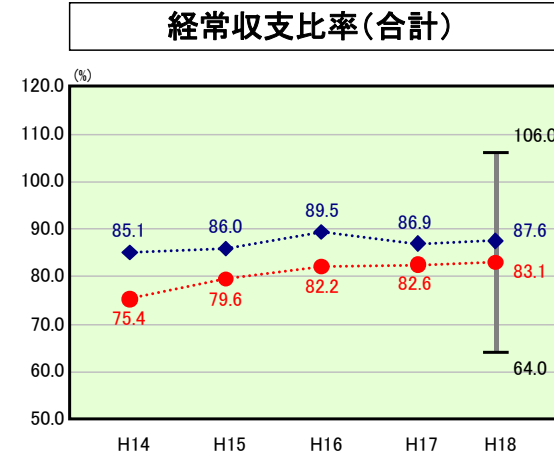


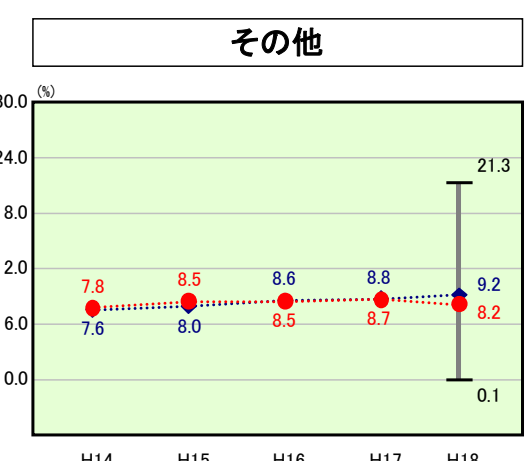
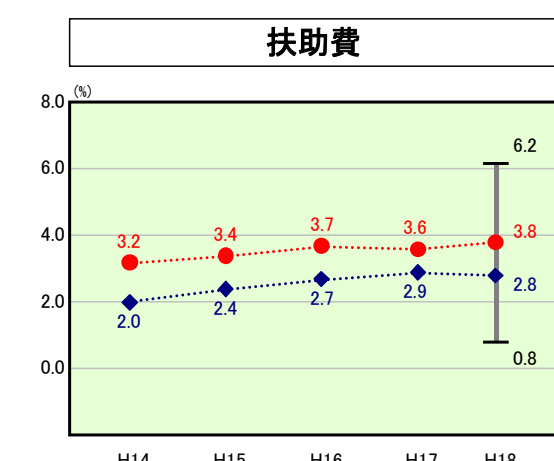
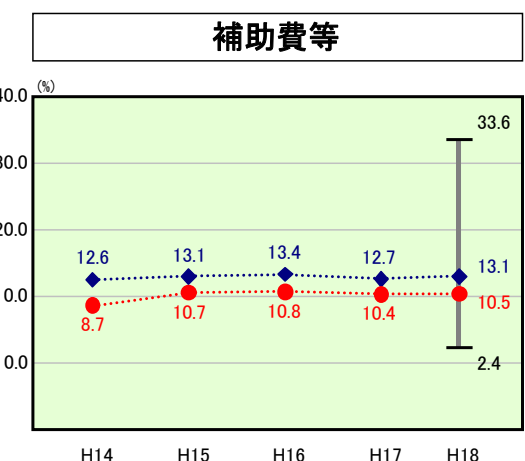
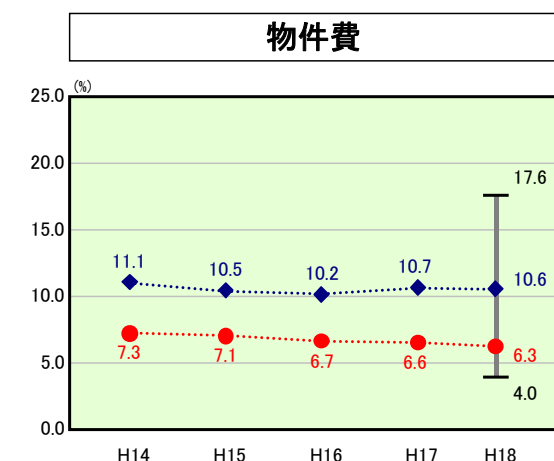
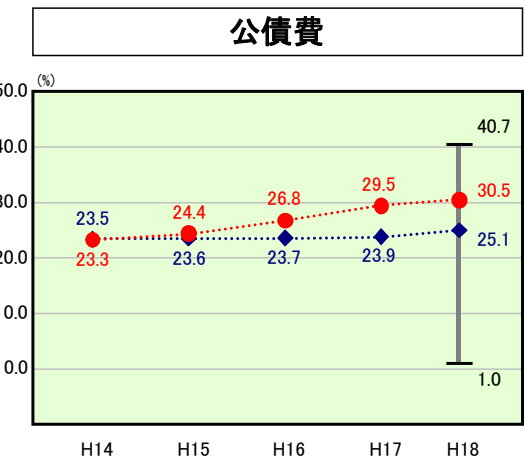
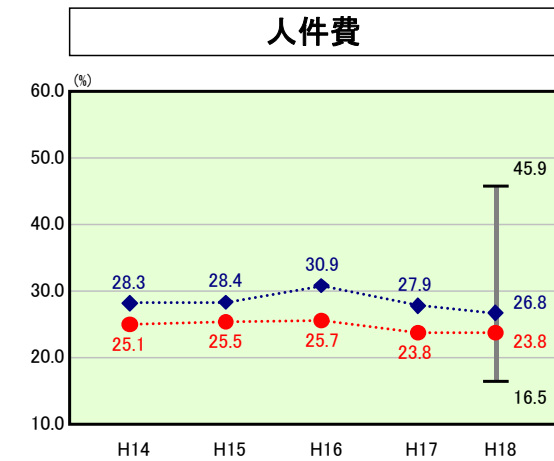
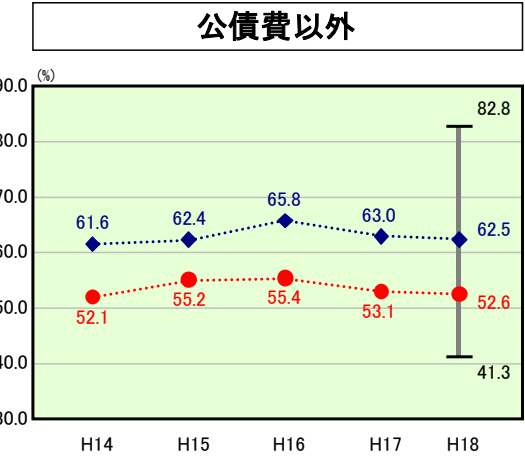
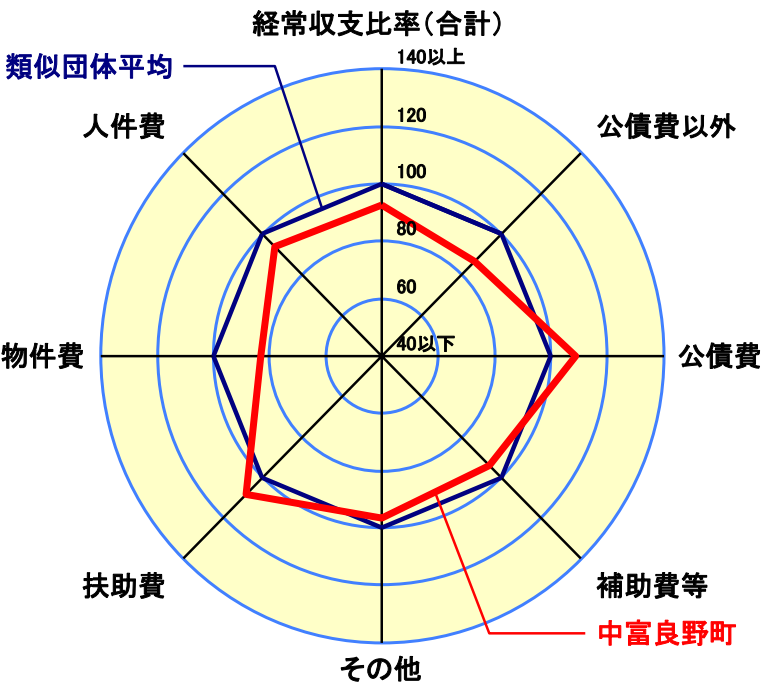
歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

北海道 中富良野町

経常収支比率の分析



人口	5,756人(H19.3.31現在)
面積	108.70 km ²
歳入総額	4,569,707千円
歳出総額	4,485,706千円
実質収支	84,001千円



※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
 ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
 ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

- 人件費：類似団体平均と比較すると、人件費にかかる経常収支比率は低くなっている。管理職手当・住宅手当の見直しや退職者の不補充など、行政改革への取組を通じて人件費の削減に努めている。
- 物件費：類似団体平均と比較すると、物件費にかかる経常収支比率は低くなっている。行政改革の取組を通じて義務的経費の削減に努めている。
- 扶助費：扶助費にかかる経常収支比率は類似団体平均を上回り、かつ上昇傾向にある。要因としては児童手当の改正等が影響している。
- 公債費：公債費にかかる経常収支比率は類似団体平均を上回り、かつ上昇傾向にある。要因としては、一般廃棄物最終処分場・総合スポーツセンター等の起債償還が開始されたため、元利償還金は平成19年度にピークを迎えるが、今後減少に転ずると見込まれる。
- 補助費等：類似団体平均と比較すると、補助費にかかる経常収支比率は低くなっている。行政改革への取組として、各種団体に対する補助金を見直し、自立・事業内容の再検討を求めたほか、政策的な補助金については終了年次を明示するなど、交付の原点に戻った見直しを行っている。